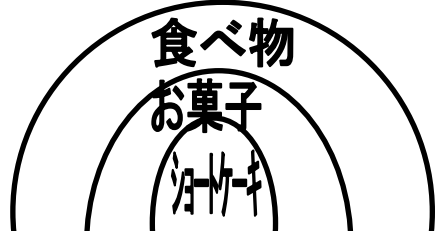


羽曳野市学校図書館ニュース 第16号

平成27年10月発行：羽曳野市学校図書館

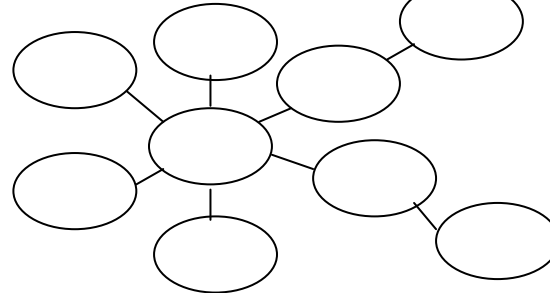
どうやってテーマを決めるの？

調べ学習などで、テーマを決めるときに、どんなふうに工夫をしているのでしょうか。



**大きなテーマ→小さなテーマ
→具体的なこと**

キーワードを三段階でしぼる方法。



ウェビング図

関連する言葉をつなげて、テーマを広げる方法。

ミステリー
謎 カード

なに？

いつ？

どこで？

だれが？

なぜ？

どのように？

いくつ？

謎（ミステリー）カード

この中から一つ選んで、テーマを考える。
テーマを三段階でしぼる方法の後、使うことが多い。

動き	形の変化	様子(重 力・温度)
どうやって できたのか	月	表面[ク レーター・海]
太陽	日食・ 月食	月のもよう

マンダラート法 たて横3つの
枠を作り、真ん中に大テーマをおく。
大テーマのまわりに、考えを広げていく



**図書館でテーマにできそうな
題材を探す。**

調べ学習に役立つ紙芝居

使って
みませんか？

「調べ学習紙芝居シリーズ」

赤木かん子/著 きしらまゆこ/イラスト 埼玉福祉会



『テーマのきめかた』



『百科事典の引きかた』



『本ってどうやってつかうの？
(目次と索引)』



『報告書を書こう！』



『発表ってどうやるの？』

★羽曳野市立中央図書館に
保管されており、FAXで
申し込みができます。

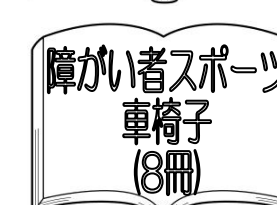
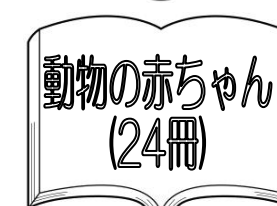
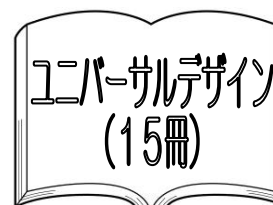
★学校司書や図書館部会の
先生におたずねください。

学校図書館支援センター セット資料

が便利です。

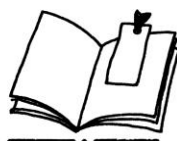
昆虫図鑑 や 植物図鑑、百科事典のほかにも、以下のような資料があります。

テーマに沿った本が準備されており、調べ学習で利用しやすいです。



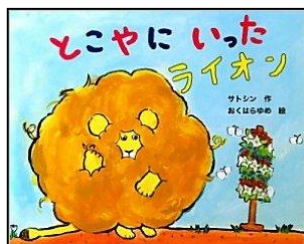


先生のおすすめの本



『とこやにいったライオン』

作：サトシン
絵：おくはらゆめ
出版：教育画劇



たてがみが伸びすぎたライオン。カリスマ床屋さんに行き、「すっきり・ばっさり」と注文しました。床さんが切っていくのですが、たてがみの1本が鼻に入ってしまった…。そこからはページをめくるたびに子ども達は太うけ。盛り上がること間違いなしの1冊です。

(埴生南小・上田先生)

『あいうえおのき』

作・絵：レオ・レオニ
訳：谷川俊太郎
出版：好学社



文字でいっぱいの木がありました。ある日、言葉をつくることを教えてもらい、さらに「文をつくったら」と提案されます。「なにか大事なことを言わなきゃだめだ」文字たちはとうとう考えつきました…。子どもたちと平和を考えるきっかけになる本です。

(埴生小・西島先生)

『りゆうがあります』

作・絵：ヨシタケ シンスケ
出版：PHP 研究所



鼻をほじったり、貧乏ゆすりをしたり…。子どもがやっているのを見かけたら、大人はつい注意をしてしまいます。しかし、絵本の中の「ぼく」には、ちゃんと理由があるのです。思わず納得しちゃうほど、その理由がとにかく面白い。この絵本のお母さんみたいにクセを見つけた時には、叱る前にちょっと聞いてみようかという気にもなってきます。

(恵我之荘小・西田先生)

『しろくまのパンツ』

作：tupera tupera
出版：ポプラ 新社



パンツをなくしたシロクマさんが、自分のパンツを探しに行きます。道々で見つけたパンツはだれのパンツ・・・？と、子ども達に聞きながら読んでいきました。「これは誰のパンツかな」と想像し、大盛り上がりで聞いていました。最後のオチもかわいらしいです。

(高鷺南小・佐渡先生)

司書のおすすめの本

『ぴつつんつん』

絵：もろかおり
文：武鹿悦子
構成：後路好章
出版社：くもん出版



テンポよく、読んであげてください。たくさんの雨おとがきこえて、ミュージカルみたいにおどりだしたくなるえほんです。

作者が、世界中の教師たちへあてたメッセージ。「やめて！」という言葉が持つ力を、子どもたちとじっくり味わってください。



『やめて！』

作・絵：デイビッド・マクフェイル
訳：柳田邦男
出版社：徳間書店

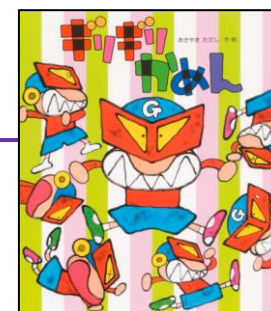
『あのときすきになったよ』

作：薫くみこ
絵：飯野和好
出版社：教育画劇



ちっとも好きじゃなかった、同じクラスの「しっこさん」。だけど偏見を乗り越え、二人は仲良くなっていきます。クラスで読んで欲しい一冊。

「ぎりぎり」か「こつこつ」か。どっちがうまくいくのか、わかってるんだけどなあ。共感しながら楽しめます。



『ぎりぎりかめん』

作・絵：あきやまだし
出版社：金の星社

『ちがうねん』

作：ジョン・クラッセン
訳：長谷川義史
出版社：クレヨンハウス



「このぼうし ぼくのとちがうねん。とってきてん。」冒頭から、『えっ！』と子ども達の顔。ページをめくるたびに聴こえるつぶやき。じっくり味わい、共に考えてください。

声をかけたいのに、声をかけられない。そんなことだれでもあるはず。思い切って声をかけてみようと思える絵本です。



『あいつともだち』

作：内田麟太郎
絵：降矢なな
出版社：偕成社